

(様式1)

## 令和6年度 学力向上を図るための全体計画

学校名	墨田区立錦系中学校
校長名	和田 浩二

### I 本校の学力に関する状況

#### (1) 墨田区学習状況調査結果から

成 果	課 題
○全国平均値との比較で、5ポイント以上低い観点 が、大幅に減少した。(令和5年度14→6年度8) ○1年生→理科、英語それぞれの2観点で目標値を 超えた。 ○2年生→ほぼすべての観点で、全国平均値以上、 もしくは同等の正答率だった。 ○3年生→数学、英語それぞれの2観点で全国平均 値を超えた。	○記述問題に対する解答率が低い。(1,3年生) ○社会の知識の定着が低い。(2年生)  ※目標値より5ポイント以上下回っている観点の数 ○1年生→国語1観点 社会1観点 ○2年生→社会1観点 ○3年生→国語1観点 社会2観点 数学1観点 理科3観点 英語1観点

#### (2) 意識調査結果から

成 果	課 題
○「学校生活の中で、自分の意見を発表したり、先 生の質問に答えたりしている」割合が全国平均 よりも高い。 ○「授業や日常生活の中で、不思議だな、どうして だろう、と思ったことを調べている」割合が全国平 均に比べ、大幅に上回っている。	○家庭で勉強を全くしない生徒が15%程度(休日 では25%程度)、本を全く読まない生徒が40% 程度いる。 ○テストで間違えた問題をやり直すことをしない生 徒が30%程度いる。

#### (3) 墨田区学習状況調査や意識調査以外から明らかになっている学習に関する状況

成 果	課 題
○一人1台のタブレット端末を活用し、学習支援アプ リでの意見の共有や AI 学習教材での自主学習、 アプリを活用したアウトプットに、積極的に取り組 んでいる。 ○各生徒が得意とする教科への意欲は高く、すすん で学習する姿が見られる。 ○校内学習コンテストを実施し、多くの生徒が高得 点をとり、基礎的・基本的な学力の定着につなげ ている。	○授業中に自分の考えを積極的に発言するが、探 究的な学習になると発言や記述することができな い生徒が多い。 ○どうやったら学習結果がよくなるか考えてから学 習を始めたり、自分に合った学習方法を工夫した りすることが苦手な生徒が多い。 ○各教員が生徒たちの課題を把握し、授業の中で 補完できるよう授業内容を組み立てて実践するこ とが必要である。

## 2 本年度の学力向上に関する主な取組

### (1) 各種学力調査の結果の分析、学力向上プランの作成

学力向上委員会を中心に、各種学力調査の結果の分析を行い、分析結果や生徒の普段の様子をもとに「学力向上を図るための全体計画」を校長が作成する。各教員は「学力向上を図るための全体計画」に基づいて「学力向上プラン」を作成し、授業を実践及び検証し、生徒への学習支援を行う。

### (2) 基礎的・基本的な知識・技能の定着

#### ①基礎・基本定着のための時間設定

既習事項の確認の時間、得た知識を基に説明をする時間、テストの振り返りをする時間を意図的に設け、学びの定着を目指す。また、自分が何を学び、何を身に付けたかの認識を深めるため、一単位時間ごと・単元ごとの振り返りの時間を大切にす。

#### ②個別最適化された学びを実現する ICT の活用

Qubena や、ミライシードなどの AI 学習教材を活用し、授業や家庭学習・朝学習などで自由に取り組める時間や機会をつくるとともに、学習履歴を教員が確認し、生徒一人一人に適した励ましやアドバイスを行い、学習の基礎・基本の定着を目指していく。

#### ③ふり返しシートと問題データベースの活用

学年・教科ごとに用意された「ふり返しシート」を区で設定した10月と1月から3月末までの期間に加えて、問題データベースを定期考査前にも活用することで、学習内容の定着状況を確認し、個別に支援を行う。

### (3) 思考力・判断力・表現力の育成

#### ①学んだことを活用するアウトプットの時間の設定

アウトプットの活動として、Pages を活用したレポート作りや、Keynote を活用したプレゼンテーション、iMovie を活用した動画作りなどを単元計画に位置付け、学んだことの一層の定着を図る。

#### ②多面的・多角的な思考を促す学習活動の工夫

MetaMoji などの学習支援ツールや、Numbers の共有機能などを活用し、生徒同士が互いの考えやアイデアを表現し合う場を確保し、一人一人が自分の考えを構築・再構築することができるように支援していく。

### (4) 家庭学習の定着

Qubena を活用した家庭学習を推奨し、学習記録を手帳に残すよう指導する。

また、手帳を介した生徒と教員のやり取りを通じ、一日の過ごし方や学習スケジュールの進め方、目標の設定などを助言し、一人一人に合った学習計画の立て方が身に付くように支援していく。

## (5) 校内学習コンテスト等の実施

### ① 校内学習コンテストの実施

校内学習コンテスト(5科)を行う。基礎的・基本的な学力の定着や年間を通して目標をもち、計画的に学習に取り組む態度の育成を目指す。この取組に対する意欲を高めるため、満点獲得者には満点賞、90%以上の達成率の生徒には高得点賞として表彰を行う。

### ② 検定取得の推奨

漢字検定、英語検定、数学検定の受験を推奨するとともに、外部講師を活用した英検対策講座、数検対策講座を実施する。

## 3 「令和6年度 墨田区学習状況調査」における目標

### (1) 目標

- 全学年、すべての教科で校内平均は、全国平均+5ポイント以上の値を目指す。
- 各学年各教科において、DE層の割合を35%以下にする。
- AI学習教材を適切に使い、基礎的・基本的な知識の定着を図る。